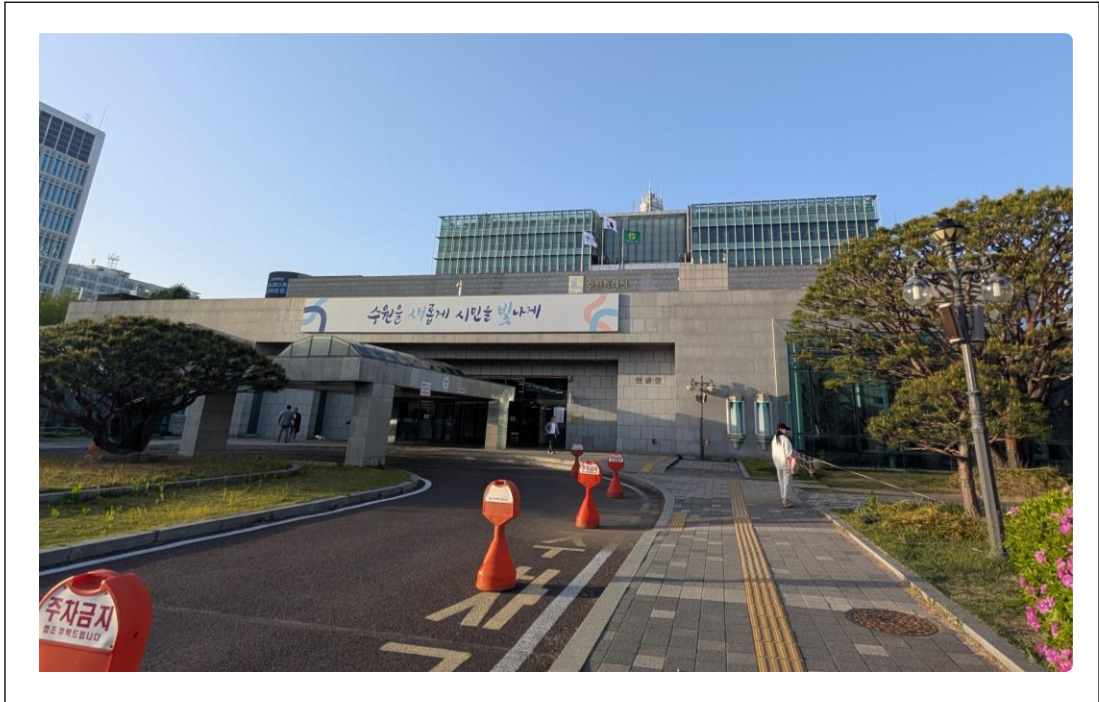


## あさカジャ Vol.2



ヨロブン、アンニョンハセヨ！

水原市に滞在中の庄内です。

水原市に滞在して1ヶ月が経過しました。

気温がぐんぐん高くなっており、日中は30度を越えることも少なくありません。そして、韓国は日本より西側に位置している関係で日の入り時間が遅く、余計に暑さを感じる毎日です…。

さて今回のあさカジャは、私が現在勤務しています水原市役所についてご紹介します！



## -水原市役所について-

市役所は（ちなみに韓国で市役所は市庁と表現します。）水原駅から地下鉄と徒歩で約15分ほどの場所にあり、本館のとなりには議会があります。

市内には区役所や住民センターが数多くあり、市役所1階にある窓口にはあまり市民の方はいません。

私は派遣前は市民課で勤務していたため、市民の方があまりいない穏やかな窓口がとても不思議な光景でした。

また、市民の方が相談する際は直接担当課に行くのではなく1階の相談室に職員が降りてきて相談に乗るというシステムで、カフェや観葉植物もありきれいでとても落ち着いた空間でした。

職員の方が休憩をしたりチームの打ち合わせや会議もここでしたりします！



窓口



相談室



巨大観葉植物

海外にきて大変なことがあったり、何か悩みごとがあったらここで話を聞くからねと担当者の方が言ってくださいました！優しい方たちばかりなので幸いにもまだ相談でこのスペースは使用していません！

# ASAHIKAWA CITY

私はというと、行政支援課・国際交流チームという部署に所属しています。

行政支援課は管理チーム、職員福祉チーム、公共サービス管理チーム、記録チーム、そして国際交流チームの5つのチームで構成されています。



2階時代の行政支援課

国際交流チームは主に姉妹都市との交流事業や翻訳、通訳、国際交流センターの運営等を行っています。前回のあさかじゃでちらりとお話したのですが、水原市は現在15の姉妹都市と4つの友好都市と提携し交流活動を行っています。

国際交流チームの業務ではないのですが、姉妹都市の活動としてカンボジアの姉妹都市であるシェムリアップ州では州のなかにあるプノン・クロム村で国際開発協力プロジェクトを行いプノン・クロム・スウォン村という村ができたそうです！

お引っ越ししました！



去年市役所のとなりに議会の建物が完成し、本館に入っていた議会がお引っ越しするのに伴い私がいるチームも本館の2階から3階にお引っ越ししました！

日曜日に引っ越し本番だったので、金曜日は段ボールに囲まれて仕事をしていました。旭川市役所の新庁舎引っ越しを思い出しました…。



# 韓国では ひとりごはんはしない？！

韓国ドラマを見ているとごはんをみんなで一緒に食べるシーンをよく見ますが、実際はどうなのでしょう？

たしかにチームや友だちなどにごはんを食べるのがスタンダードではあるのですが、一人で食堂を利用したり、自席でお弁当やデリバリーフードを食べる方も全然います。

また、韓国では挨拶のように「ご飯食べた？」や「たくさん食べてください」といった声かけが日常的です。日本でいう「お疲れさまです」や「元気ー？」に似ている感じがします。



旭川市役所のお昼の時間は12:15～13:00ですが、水原市役所は12:00～13:00と旭川市役所より15分長いです。

しかし、勤務時間が9:00～18:00なので旭川市役所にいた時よりも勤務時間は長いです…。



好きな分お皿に盛っていくシステムで、私はいつも「少ない！もっと盛って食べて！」とされます。私は辛いのがあまり得意ではなく、見た目は辛そうではない食べ物もちゃんと辛いので結構苦労しています…

8階に食堂があり、お昼はもちろん朝の8時から開いているため朝食も食べることができます。私はチームのみなさんとよくここで昼食を食べます。

また、旭川市役所の食堂は食券を購入しますが水原市役所は職員カードにお金をチャージして食堂入り口の機械にかざすシステムとなっています。



お昼ごはんを食べて13時までは各々の活動になります、自席に戻ってお昼寝をしたり、外にコーヒーを買いに行きお散歩したり...私もいつもお昼ごはんを食べたらチームのお姉さん達と外に散歩しに行きます。市役所のまわりや近くの公園を他愛もない話をしながら散歩をします。食後の散歩は血糖値が急激に上がるのを防ぐのにも良いようです。

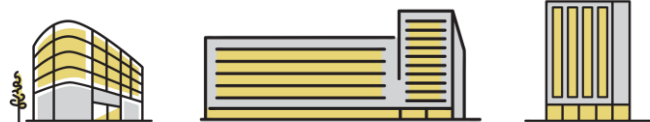
また市役所内にも休憩できるスペースがあり、本館の2階からこの「青空庭園」に出ることができます。庭園にはきれいな花壇やよく手入れされた低木が並んでいます。

ただこの2階は市長をはじめとする市役所の幹部職員が集まるフロアになっているため行くときは細心の注意を払っていく必要があります...





## 4月末に行った業務についてご紹介します



4月末に在大韓民国日本大使館から職員の方が水原市の施設の視察に来られたので、同行させていただきました。対象施設は水原市内にある「水原市立美術館」、「水原華城博物館」、「八達（パルタル）文化センター」でどれも初めて訪れる施設でした。大使館からは、1等書記官である御澤氏をはじめ他3人の日本大使館に勤めている韓国人の方が来庁されました。

書記官も韓国語が堪能で館長などとの会話は基本的に韓国語で行っており、他の韓国人の方は日本語が堪能で...異国で働くということは最低限の言語力はやはり必要だと痛感しました。

今回、視察にきた目的は在大韓民国日本大使館が行っている「JAPAN WEEK」という日本を紹介するイベントを水原市で行えないか、行えそうな施設があるかの視察でした。

熱心に各施設の設備など担当者の話を聞き、たくさん写真も撮っていかれました。去年は江原道の春川市で開催し、大盛況だったそうなので、もし水原市で開催される事になったら、日本や旭川市をたくさんアピールしたいなと思います！



2024年に行った姉妹都市35周年記念の時に旭川の日イベントはこの八達文化センターで行われました。

# ASAHIKAWA CITY

## 5月は研修を受講したのでご紹介します!!

クレアソウル事務所が主催する韓国駐在地方公務員等連絡協議会兼クレアソウルセミナーに5月15日に参加してきました。クレア（CLAIR）とは一般財団法人自治体国際化協会という名称で日本の地域の国際化を推進するための自治体の共同組織として設立されました。

そして、クレアソウル事務所は韓国における日本の地方自治体の共同海外事務所として設立されました。

今回の研修では、「安全対策セミナー」、「私が見た日韓首脳外相」、「日韓関係の変化と地方交流」の3つを受講しました。



「安全対策セミナー」では、在大韓民国日本大使館総領事から韓国での邦人援護の内容や事件事故に遭わないようにするための対策について講義いただきました。韓国を訪れる日本人は365万人と過去最高を記録しており、大使館もかなり忙しくなっているようです。大使館のHPでは安全マニュアルを公開しており、緊急時の対応や病院等の連絡先がまとまっていますので、韓国へ渡航予定がある方はチェックしてみてください。



「私が見た日韓首脳外相」では、読売新聞のソウル支局長からこれまで取材した歴代総理との新聞にはのっていない裏話など貴重なお話をたくさん聞くことができました。2018年ごろから日韓の関係が悪化しはじめ戦後最悪とも言われていたのですが、それを今日までどのように回復させ、継続させているのか歴代首相が行った政策や首脳会談等を丁寧に解説していただきました。



「日韓関係の変化と地方交流」では、アサン政策研究院から上級研究員の方にこれまでの日韓関係の変化について講義していただき、韓国から日本への好感度の変移やなぜそうなのかといった研究結果について詳しいお話を聞くことができました。これから韓国と地方交流をするにあたりまずは日本と韓国の地方の間でどのような交流をおこなっているのかをもっと発信していくことが大事であるということをおっしゃっていました。



久々に日本人がたくさんいる場所にいき、日本語で会話を行うことができ、すごく良い気分転換にもなりました。

なにより講義の内容がとても学びの多いものであったので充実した時間を過ごすことができました。



## 水原演劇祭

5月16日・17日の2日間の日程で水原市にある京畿サンサンキャンパスで水原演劇祭が行われました。

水原演劇祭のコンセプトは「森の中のパーティー」で、屋外の緑あふれる会場内には12のステージが作成され1日を通して様々な公演が行われました。今年は韓国とフランスの国交樹立140周年を記念してフランスから3作品が招待されました。



私は17日に実際に見に行きましたが、天気がとても良くて会場内では公演を見るだけではなく、テントやレジャーシートで休む人たち、会場でのびのびと遊ぶ子供たちであふれていました。キッチンカーも複数きていたのでお腹が空いても安心して公演を楽しめます！

## -実際に観覧した公演-



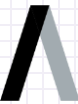
### 「Le Bezuk」

フランスから招待された作品のひとつでした。パイプが生き物のように動き、時には観客を飲み込むようとしていました。矢印の先がパイプです、写真のときは犬を飲み込むようとしています。



### 「Adam's Miss」

すべて韓国語による語り劇だったためわからない部分があったのですが、2人の俳優さんが会場を広く使い社会問題についてなぜそうなのか、どうしてこうなったのか、時にクスッと笑えるお笑い要素を交えながら公演を行っていました。



「No Way Back」 泥をかぶり、かなり特徴的な格好をした3人組が労働と競争をテーマに観客も巻き込んだ公演を行っていました。しゃべりの公演ではなかったため、韓国語がわからなくても十分に楽しめました。



段ボールを高く積み上げる演目があったのですが、積み上げるたびに観客からの歓声があがり最後崩れていくときは私も思わず声が出てしまいました...

-ご参考までに今年の公演について-

日時 2026.5.16.~5.17

会場 京畿サンサンキャンパス

料金 無料

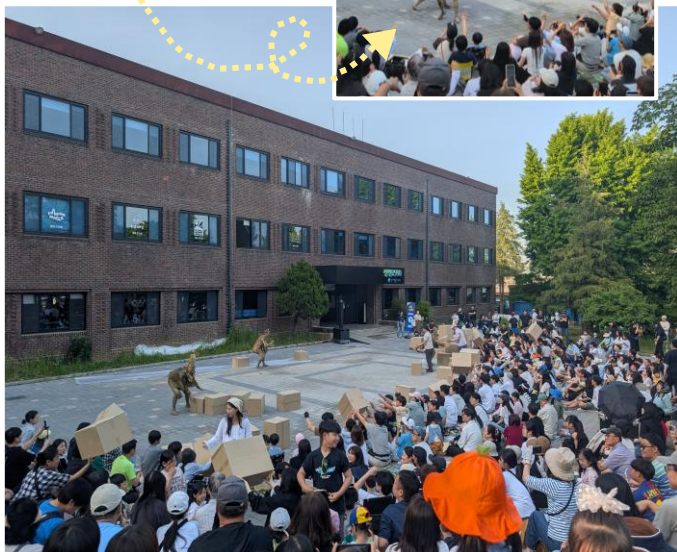


公式HP



公式Instagram

夜の9時過ぎまで公演があり、夜は日中とはまた違った公演を見ることができます。私は日中の3つの公演のみですべての公演を見ることはできなかったのですが、韓国語がわからなくても十分楽しめるお祭りでした。



毎年行っているお祭りなので、もしこの時期に水原市を訪れる機会があればぜひスケジュールのひとつに追加してほしいなと思います!!!

No Way Backの公演をおこなったProject TONGのみなさん



水原市に来て1ヶ月が経過し、やっと体が韓国に慣れ始めました。暑さや湿度、辛さに負けずこれからも皆様に韓国をはじめ、水原市の情報をお伝えしていきます!

それではまた来月お会いしましょう~



ASAHIKAWA  
CITY